

【別添1】

ノウフク・アワード2021審査基準

農福連携等応援コンソーシアムのアイデンティティを「耕すみんなを応援する」とし、これに連動させ、ノウフク・アワード2021では「人を耕す」「地域を耕す」「未来を耕す」という3つのキーワードを評価軸に設定し、多様な視点・切り口から評価を行い、90点満点で評価を行う。

<p>3つのキーワードの視点</p> <p>「人を耕す」=農福連携等を推進する多様な当事者に光が当たる取組になっているか</p> <p>「地域を耕す」=地域の課題解決、新規就農者の増加や生産者の収益向上・販路拡大を通じて、持続可能な地域社会のあり方を発信できるような取組となっているか</p> <p>「未来を耕す」=農福連携等の新しい価値、物語を発掘し、波及効果のある取組となっているか等</p>
--

選定基準	評価ポイント	評価点	点数配分
1. 人を耕す	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者等の賃金は当該都道府県の最低賃金以上、又は工賃向上に取り組んでいる ○ 障害者等に対して能力や適性に応じた作業選定等が行われているほか、管理者や責任者などにステップアップしている事例も見られる ○ 障害者等が働きやすい環境の整備を行っているほか、農作業中等の安全管理や健康管理が適切に行われている ○ 農林水産業等に携わることで、自己決定に基づいて、地域において主体的な生活を営むことができおり、一般就労へとつながっている事例も見られる ○ 障害者等に対する理解が深まり、多様な人々が働くことができる職場環境の創出につながっている ○ 多様な人がノウフクに関わることで、寄り添い、助け合おうとする環境が創出されている 	各評価項目5点 ×6項目	30点
2. 地域を耕す	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農福連携を通じて、農林漁業経営体の収益向上や生産性の向上につながっている ○ 取組を通じて農地・地域の伝統野菜・農業技術等を継承し、地域の農林水産業の維持・発展に貢献している ○ 地域や地域農林水産業を支える存在となっている ○ 地域の祭りやイベントの共催・参加を通じて地域内での交流が活発化し、地域コミュニティの維持に貢献している ○ 直売所やレストラン・カフェの開設、農作業体験や収穫体験等を通じて地域内外からの交流人口の増加につなげている ○ ノウフクを通じて地域の企業・農業法人・社会福祉法人・特別支援学校等が連携することにより、地域産業等に活気が生まれ地域活性化につながっている 	各評価項目5点 ×6項目	30点

<p>3. 未来を耕す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先進性、独創性、話題性がある取組である ○ これから農福連携に取り組みたい事業所等の模範となる取組であり、全国への波及効果が期待できる取組である ○ 持続可能な地域共生社会や多様性のある地域づくりに貢献しており、これからの日本社会に必要な「ノウフク」の形が発信できている ○ 農福連携の取組みが地域内に止まらず、地域外の企業・農業経営体・社会福祉法人等とも連携し、幅広い分野のつながりを生むことで、新しいノウフクの形が形成されている ○ ノウフク JAS や GAP の取得などを通じてノウフク商品の付加価値向上を図っているほか、農福連携の取組みを通じて地域農林水産業の未来に明るい兆しが見えている ○ 人の心を動かす「ノウフクストーリー」があり、企業や国民が応援したいと思わせるような取組である 	<p>各 評 価 項目5点 ×6項目</p>	<p>30点</p>
-----------------	---	--------------------------------	------------